



自民党 永岡桂子 前文部科学大臣が 顧問！ 茨城県下自治体が恐れる 「部落解放愛する会」

カテゴリー：地方, 政治, 未分類 | タグ：同和, 永岡桂子, 自由民主党, 茨城 | 投稿日：2023年9月18日 | 投稿者：宮部 龍彦

4件の返信

 By 宮部 龍彦

※アイキャッチ画像は海野隆一ひと・まち・くらし・しぜん通信より

公益財団法人人権教育啓発推進センターが「部落解放愛する会茨城県連合会」の糾弾によって、推進センターによるパンフレットのささいな文言をめぐって、謝罪に追い込まれていたことを以前の記事でお伝えした。覚えていない方は、ぜひ以前の記事を見返して頂きたい。その推進センターは今年も「えせ同和行為をはじめとする不当要求行為対策セミナー」を各地で開催している。

そのような団体が、なぜ地方の一同和団体に屈することになったのか。資金と政治力という面でその背景を検証した。

絵に描いたような 反社風

「えせ同和行為をはじめとする不当要求行為対策セミナー」では、えせ同和の手口を説明したビデオが流される。これはYouTubeでも見ることができ、例えば以下のようなものがある。大まかに言えば、反社風の男が会社にやってきて、機関紙を買わせたり、寄付金を要求したりするといったものだ。

「愛する会」が「黒スーツにシャープなメガネ」等の出で立ちで筆者の前に現れ、推進センターにも同様の風体で出向いていたことは以前の記事で書いた。あとで分かったことだが、これに対応したのは推進センターの一部の職員であったが、「絵に描いたような反社風の出で立ち」であったことが界限に広まっていた。なお、件のメガネについては、愛する会は機関紙『荊棘』2023年5月号で本サイトの記事を批判し、「哀川翔モデルのメガネが、どうしてヤクザであるかのようにになってしまうのでしょうか」と書いている。

ただ、啓発ビデオに出てくるような「えせ同和」と違うのは、直接的な金銭の要求はなかったというのである。代わりに、茨城県下の「本物の」行政から

推進センターに圧力があり、推進センターが驚いてしまったということなのだ。

つまり、いわゆる「えせ同和」と「愛する会」では少なくとも1つの共通点と2つの違いがある。共通点は「出で立ち」であり、違いは「金銭の要求はしない」「本物の行政機関と連携している」ということだ。

これでは推進センターが対応出来なかったのは無理もないかも知れない。まず、金銭を要求しない時点で何の意図でこのようなことをするのか理解できない。対策セミナーでは法務局や自治体、あるいは弁護士に相談するように言われるが、愛する会は水戸法務局に対しても街宣車を回して糾弾していたし、自治体自体はむしろ愛する会の側だった。そして、後述する理由で弁護士も頼りになりそうにない。

自民党の 永岡桂子衆議院議員をはじめ バックには各界の有力者が

まず、愛する会に自治体が従ってしまう背景を見ておこう。ここに「愛する会茨城県連顧問」という資料がある。まず目につくのは、筆頭についこの間まで文部科学大臣だった永岡桂子衆議院議員（自民党）の名前があること。

愛する会茨城県連顧問（順不同）

衆議院議員

県議会議員

県議会議員

県議会議員

県議会議員

弁護士

つくば市

同志会会長

相談役

永岡桂子

飯塚秋男

高橋勝則

金子晃久

石塚隼人

東由明

高橋英昭

宮内政夫

その後に連なる県議会議員も、ことごとく自民党の会派である。

通常、自民党系の同和団体と言えば自由同和会が思い浮かぶが、茨城県では自由同和会ではなく全日本同和会が強い。全日本同和会は自民党から見放され、自民党系の会員が分裂して自由同和会を作った経緯がある。茨城県その代わり、愛する会が自民党と関係しているというわけだ。

そして弁護士の名前もある。この名前で検索すると、同姓同名の人物が預り金の不返還などの非行が原因で2017年に埼玉弁護士会から除名されている。いずれにしても、愛する会に対しては「弁護士に相談」という対処方法は当てにならなさそうだ。

「同志会会長 高橋英昭」の名前もあるが、これはつくば市高須賀を拠点とする政治団体であり「高校

で、このカーボ野郎と言われてボコボコにされて、ヤクザの親分のところに駆け込んだ」というエピソードが会長の講演の持ちネタなのだという。

この資料が作られた時期は不明で、おそらく2017年より前であることは想像できるが、今でも自民党議員との関係が続いているのかというと、続いている。

今年の7月27日に常総市地域交流センターで「第41回同和教育研修会」が開催され、愛する会の機関紙『荊棘』8月号に会に祝電を送った人物の一覧が掲載されている。

**祝電をいただいた
先生方(順不同)**

埼玉県に持ち帰り、同和教育解消のために努力したいと思います。・・・」

文部科学大臣 衆議院議員 永岡桂子様、茨城県議会議員 飯塚秋男様、高橋勝則様、金子晃久様、石塚隼人様、つくば市長 五十嵐立青様、議会議員 後藤泰誠様、教育長 森田充様、社協 松本玲子様、水戸市長 高橋靖様、教育長 志田晴美様、社協 保立武憲様、常総市長 神達岳志様、議長 坂巻文夫様、教育長 岡野克巳様、社協 神達岳志様、潮来市長 原浩道様、教育長 横田直樹様、社協 市川隆男様、取手市長 中村修様、教育長 伊藤哲様、社協 川口澄弘様、商工会 菊地城一郎様、鹿嶋市長 田口伸一様、教育長 川村等様、社協 田口伸一様、龍ヶ崎市長 萩原勇様、教育長 大古輝夫様、社協 萩原勇様、石岡市長 谷島洋司様、教育長 岩田利美様、社協 谷島洋司様、小美玉市長 島田幸三様、教育長 羽鳥文雄様、社協 伊能淑郎様、土浦市長 安藤真理子様、教育長 入野浩美様、社協 安藤真理子様、坂東市長 木村敏文様、教育長 倉持利之様、社協

2023年(令和5年)8月15日発行 2023年10月26日第3編郵便物認可(4)

<p>木村敏文様、古河市長 針谷力様、教育長 吉田浩康様、社協 塚田晴夫様、かずみがうら市長 宮嶋謙様、教育長 井坂庄衛様、社協 宮嶋謙様、笠間市長 山口伸樹様、教育長 小沼公道様、社協 鷹松丈人様、商工会 飯村信康様、鉾田市長 岸田一夫様、教育長 安原優様、社協 岸田一夫様、下妻市長 菊池博様、教育長 中山均様、社協 菊池博様、那珂市長 先崎光様、教育長 大綱久雄様、社協 桐原浩彰様、守谷市長 松丸修久様、教育長 町田香様、社協 松丸修久様、稲敷市長 寛信太郎様、教育長 山本照夫様、社協 寛信太郎様、商工会 高須耕一様、結城市長 小林栄様、教育長 黒田光浩様、社協 塩森茂郎様、神栖市長 石田進様、教育長 木之内英一様、社協 石田進様、行方市長 鈴木周也様、教育長 横田英一様、社協 鈴木周也様、桜川市長 大塚秀喜様、教育長 稲川善成様、社協 大塚秀喜様、北茨城市長 豊田登様、教育長 豊田健司様、社協 豊田登様、筑西市長 須藤茂様、教育長 小室高志様、社協 落合聖二様、牛久市長 根本洋治様、教育長 染谷郁夫様、社協 根本洋治様、つくばみらい市長 小田川浩様、教育長 町田幸子様、社協 小田川浩</p>	<p>様、商工会 山野井周一様、五霞町長 知久清志様、教育長 森田恵美子様、社協 染谷森雄様、境町長 橋本正裕様、教育長 忍田暢男様、社協 池上仁様、八千代町長 野村勇様、教育長 関篤様、社協 野村勇様、茨城町長 小林宣夫様、教育長 矢口和美様、社協 小林宣夫様、大洗町長 國井豊様、教育長 長谷川馨様、社協 國井豊様、城里町長 上遠野修様、教育長 添田智様、社協 上遠野修様、河内町長 野澤良治様、教育長 鈴木裕之様、社協 野澤良治様、阿見町長 千葉繁様、教育長 立原秀一様、社協 千葉繁様、東海村長 山田修様、教育長 伴教夫様、社協 中村正美様、美浦村長 中島栄様、教育長 山崎満男様、社協 中島栄様</p>
--	--

.....ありがとうございます.....
.....つづき市立高山学園の児童生徒支援教員である毛塚裕之先生による、生徒たちが取り組んでいる同和教育に関して毎年のごとくが発表していただきました。県内においては、唯一の取組であるので是非参考にして県内全域での取組へ

永岡桂子衆議院議員と、さきほどの自民党会派の県議をはじめ、茨城県下各自治体の首長、幹部の名前がずらりである。これを見てしまったら、愛する会に「糾弾」された企業や団体は、もはや対抗する気力を失ってしまうのではないだろうか。

愛する会の「公金チューチュー」

そして、愛する会が推進センターに金銭を要求しなかったとすれば、資金はどこから出ているのかと言えば、公金である。

1つは各自治体が多数購入している『荊棘』の売上げ。もう1つは自治体職員にたいする研修会の参加費であることは以前の記事でお伝えした。

これに加えて、団体への補助金がある。筆者は、つくば市、下妻市、石岡市に対して、同和団体への補助金資料を情報公開請求した。

それが以下の資料である。つくば市については、最新のものをも全同和団体について掲載した。下妻市は、過去5年分の愛する会の補助金のものである。石岡市はなぜか団体名が黒塗りにされているが、愛する会の最新の情報と特定できた部分を掲載した。



付せん貼付欄

保存		5年		分類記号	
文書記号番号		第		号	
施行予定		令和 5年 4月 3日			
回付上・施行上の注意		施行 令和 5年 4月 3日			
至急		決裁 令和 5年 4月 3日			
内容は、令和4年度と同様です。		起案 令和 5年 4月 3日			
先方の文書		令和 年 月 日		取受 令和 年 月 日	
宛先		起案部局		市民部 公印照合 押 印	
		地域改善対策室		係	
		起案者職氏名 主任		山田 耕太 (印)	
発信者		市長名 副市長名 部長名 課長名 その他		市 市 市 市 市	
		電話		2430	
件名 令和5年度つくば市民間運動団体活動補助金交付要項について					
このことについて、別紙(案)のとおり 補助金交付要項を制定 してよろしいか伺います。					
決裁権者		審 議		審 査	
五十嵐 立壽		審 議 松本 玲子 大久保 克巳 池田 浩 奥野本 玲子		文書主任 法令 文書管理主任 山田 耕太	
合議又は供覧		審 議 岡田 健一		仕上り希望 月 日	
財務部 合議 太田 勝之		財務部 合議 原島 正志		タイプ 清 打 ち 原 紙	
財政課 合議 栗田 慎彦		財政課 合議 野井 篤史		ワード 例文登録 有 () プロセッサ 無 例文登録 要・否	
財政課 供覧 松本 明日香		財政課 供覧 松本 明日香		その他	
				審 査 浄書受付 浄 書 浄書照合	
				発 送 普通 速留 速達 送 小包 便送 月 日	

つくば市

000335

つくば市同和補助金 ダウンロード

様式第4号



平成30年 6月 / 日

下妻市地域改善対策協議会長 殿

住所 [Redacted]
名称 部落解放運動会連合会
下妻支部長 [Redacted]

平成29年度補助事業等実績報告書

平成29年度補助事業等が完了しましたので、報告いたします。

言已

- | | |
|------------|--------------|
| 1, 補助金等の名称 | 地域改善対策支部補助金 |
| 2, 補助金等交付額 | 1, 534, 000円 |
| 3, 着手年月日 | 平成29年4月 1日 |
| 完了年月日 | 平成30年3月31日 |
| 5, 添付書類 | |
| | (1) 事業実績書 |
| | (2) 収支決算書 |

下妻市愛する会補助金 ダウンロード

【決裁】

決裁用紙

20230405801				起案者	
決裁区分 丙					保健福祉部社会福祉課 平松 優里
収受 令和 5年 4月 6日	公開・非公開の区分	保存期限	廃棄年度(年)	文書番号	
起案 令和 5年 4月 6日	公開	5	令和11年度		
決裁 令和 5年 4月 24日	ガイド 18:社会福祉課-46:人権共通-04:団体補助金			発送年月日	
施行 令和 年 月 日	個別7111 R6 補助金交付申請書等			令和 年 月 日	
(合議)		指示事項 (決裁、合議に際しての意見)			
宛先		別紙参照 発信者			
件名		令和5年度石岡市人権啓発等事業費補助金交付について			
このことについて、次のとおり 交付決定 してよろしいでしょうか。					
1. 補助事業の目的 人権及び同和問題の解決に寄与すること目的とする。					
2. 対象団体					
3. 補助金額 582,000円					
4. 交付予定日 令和5年5月末まで					
5. 概算払いの理由 収入のうち補助金の割合が高く、年間を通じて円滑な事業の実施を図るため					
°					

石岡市愛する会補助金 [ダウンロード](#)

直近ではつくば市が215万円、下妻市が153万4000円、石岡市が142万8000円だ。

容量の関係で全ては掲載していないが、愛する会だけでなく「部落解放同盟全国連合会（全国連）」「地域人権運動連合会（人権連）」「全日本同和会（同和会）」にも補助金が出ており、団体ごとに額が違っていたり、自治体によっては出ていなかったりすることである。

全般に言えるのは、支出規模がおおむね 愛する会>同和会≒全国連>人権連 の順になっていることである。無論、これも自治体によって違いがあり、例え

ば古河市では全国連が突出しており、実に300万円近い金額が出ていることが分かっている。

これは愛する会だけに言えることではないが、団体補助金の使われ方には不明確な点が多い。「資料代」や上部組織への負担金にも補助金が充当されている場合があり、それらは別団体の独自収入に化けてしまい、その先の具体的な用途は分からない。

しかも、これらは公金支出のごく一部に過ぎない。無論、上記の3市以外からも補助金が出ている。そして、これに加えて『荊棘』の購入費や研修の参加費が各自治体から数十万円程度出ている。

いずれにしても、愛する会を筆頭として、茨城県下の同和団体が事実上公金で運営されていることは疑いない。そして、愛する会のバックは自民党。

この実態を知った上で、推進センターが今年開催する「えせ同和行為をはじめとする不当要求行為対策セミナー」に参加してみると、味わい深いことだろう。今年9月29日に茨城県水戸市でも開催されるということである。



宮部 龍彦 について

ジャーナリスト、ソフトウェアアーキテクト。

信州大学工学部卒。同和行政を中心とする地方行政のタブー、人権ビジネス、個人情報保護などの規制利権を研究している。「ネットの電話帳」管理人。

宮部 龍彦 の投稿をすべて表示 →

← ハッカーミミ N.Korea part 6 「セキュリティ会社」
日本ラグビー協会がポリコレ化は本当か？「ビジネスと人権」
に追従する悲しき事情 →

コメントを残す

「自民党 永岡桂子 前文部科学大臣が 顧問！ 茨城県下自治体が恐れる 「部落解放愛する会」」への4件のフィードバック

匿名 2023年9月20日 6:16 PM